

荒川 洪水ハザードマップ(下流側)

想定雨量 荒川流域(1,069.1km²)の平均総雨量658mm/48時間



荒川 洪水時 指定避難所一覧(下流側)

施設名	住所	管理担当 連絡先(0254)	荒川洪水時 利用可否	浸水深ランク	土砂災害時 利用可否(参考)
関川村就業改善センター	下関1411-3	64-2375	△	0.5~3.0m	○
関川小学校	下関858	64-1004	△	0.5~3.0m	○
関川中学校	上関589	64-1063	○	浸水なし	○
せきかわふれあいど〜む	上関1239	64-3636	×	0.5~3.0m	○
関川村民会館	上関1285	64-2134	△	0.5~3.0m	○
土沢ふれあい自然の家	土沢552-1	64-1491	○	浸水なし	○
特別養護老人ホーム 垂水の里	湯沢728-1	64-2322	×	3.0~5.0m	△がけ崩れ
関川愛広苑	湯沢728-7	60-4025	×	3.0~5.0m	○
川北ふれあい自然の家	小見140	64-1491	○	浸水なし	○
高田地区ふるさと会館	高田32-1	64-0835	×	3.0~5.0m	○

※気象状況や災害状況に応じた避難所の開設となります。役場からの避難情報等に注意してください。

このマップは荒川が想定最大規模の降雨により、氾濫した場合に浸水が想定される区域です

同じ場所でも大石川が氾濫した場合は、浸水範囲や浸水深が異なる場合がございます

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの地域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定してあります。この区域は「早期の立退き避難が必要です！」

家屋倒壊等氾濫想定区域には(氾濫流)と(河岸浸食)があります

氾濫流

氾濫した洪水の流速が早く、木造家屋が倒壊する恐れのある区域

河岸浸食

洪水の際に河岸が崩れて、家屋が倒壊する恐れのある区域

凡例

- 指定避難所
- 福祉避難所
- 水位観測所
- 危機管理型水位計(※洪水時のみ水位観測)
- 河川カメラ(cctv)
- 河川カメラ(簡易型)
- 公共施設
- 国道
- 主要道
- 防災行政無線(屋外スピーカー)

荒川浸水想定区域

最大浸水深ランク

- 10.0m以上
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流
- 河岸浸食

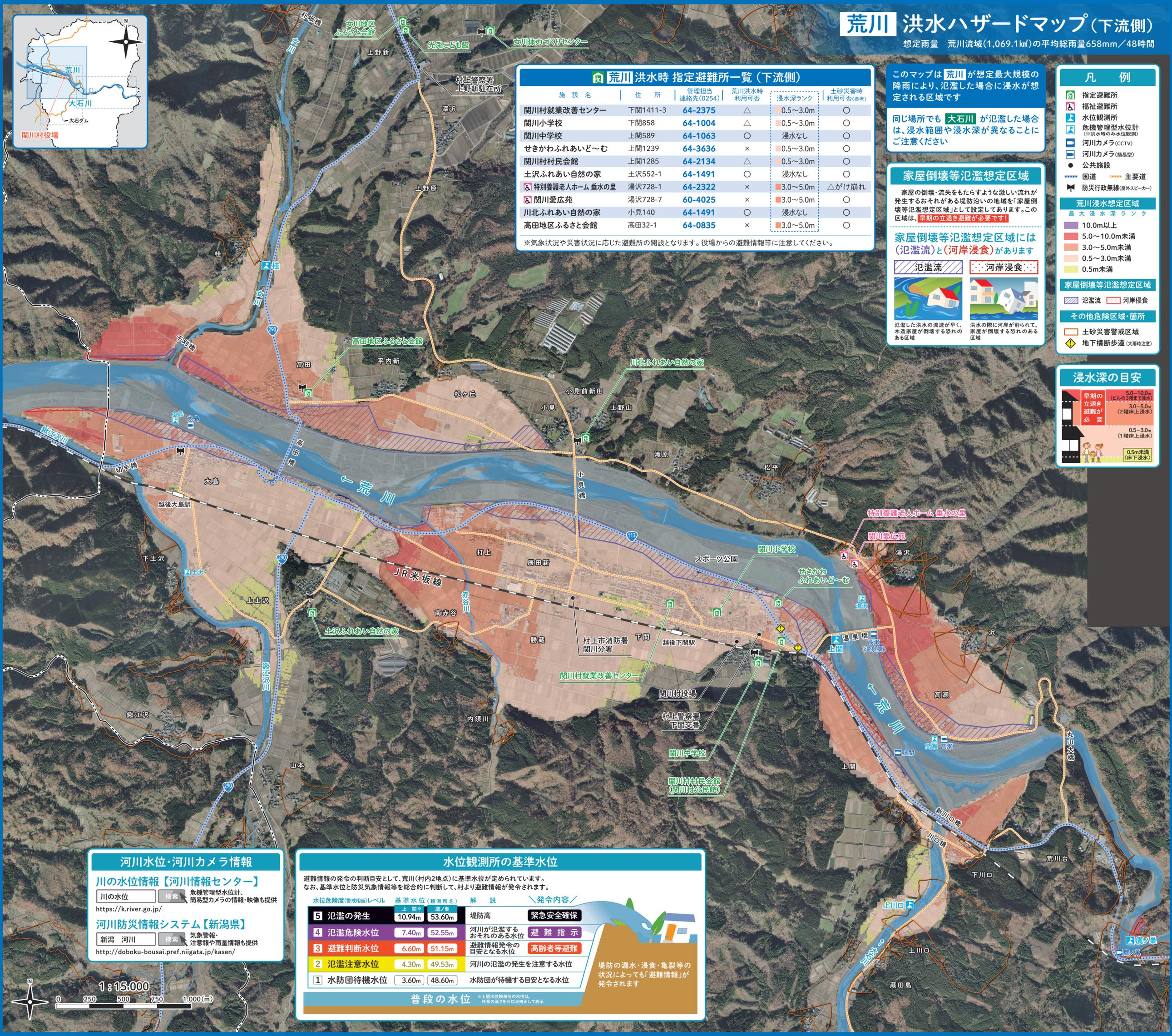
その他危険区域・箇所

- 土砂災害警戒区域
- 地下横断歩道(大雨時注意)

浸水深の目安

- 5.0~10.0m (ビルの3階まで浸水)
- 3.0~5.0m (2階床浸水)
- 0.5~3.0m (1階床浸水)
- 0.5m未満 (床下浸水)

早期の立退き避難が必要



河川水位・河川カメラ情報

川の水位情報【河川情報センター】

川の水位 検索

危機管理型水位計、簡易型カメラの情報・映像も提供

<https://k.river.go.jp/>

河川防災情報システム【新潟県】

新潟 河川 検索

気象警報・注意報や雨量情報も提供

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>

水位観測所の基準水位

避難情報の発令の判断目安として、荒川(村内2地点)に基準水位が定められています。なお、基準水位と防災気象情報等を総合的に判断して、村より避難情報が発令されます。

水位危険度(警戒相当)レベル	基準水位(観測所名)	解説	発令内容
5 氾濫の発生	上関 10.94m / 高ノ原 53.60m	堤防高	緊急安全確保
4 氾濫危険水位	7.40m / 52.55m	河川が氾濫するおそれのある水位	避難指示
3 避難判断水位	6.60m / 51.15m	避難情報発令の目安となる水位	高齢者等避難
2 氾濫注意水位	4.30m / 49.53m	河川の氾濫の発生を注意する水位	
1 水防団待機水位	3.60m / 48.60m	水防団が待機する目安となる水位	

普段の水位

※上関水位観測所の水位は、任意の高さをゼロ点補正して表示

堤防の漏水・浸食・亀裂等の状況によっても「避難情報」が発令されます

